平成22年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事　　業　　名	小平市コミュニティビジネス支援事業
団　　体　　名	特定非営利活動法人MyStyle＠こだいら
担　当　課　名	産業振興課

①目的の共有 （事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めましたか。）

団体自己評価 【充分達成できた】	担当課自己評価 【充分達成できた】
【共有できたこと】 コミュニティビジネスへの理解促進及び担い手の育成が図られた。実態調査を行い、市民にとってわかりやすいコミュニティビジネスの資料にする目的は、共有された。	

②自主・自立の尊重 （双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めましたか。）

団体自己評価 【充分達成できた】	担当課自己評価 【充分達成できた】
【共有できたこと】 事業を通じてお互いの信頼関係を築くことが出来た。	
【改善が必要と思われたこと】 団体は、事業の詳細が固まる前に、担当課に提示できれば、良かったと考えている。 担当課は、講座の企画・市民アンケートの内容にもっと意見を言うことが必要であると考えている。	

③相互理解 （互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、事業実施に際しては柔軟な対応が図られましたか。）

団体自己評価 【充分達成できた】	担当課自己評価 【充分達成できた】
【共有できたこと】 市の契約方法や委託料の支払について、団体と担当課が柔軟に対応して締結することが出来た。	

④対等関係 （互いの事業活動について対等な立場にあるため、事業を進める様々な場面において、適切な協議、 意見交換等の機会を設け、一方的に決めることなく十分に話し合います。）

団体自己評価 【達成できた】	担当課自己評価 【達成できた】
【共有できたこと】 団体及び担当課は、事業を通じての対等な関係に達していると認識したが、さらに情報共有、意見交換、進行管理を行えば良くなる場面もあったと考えている。	
【考え方に違いがあったこと】 団体としては、事業の打合せの必要を感じていた。	
【改善が必要と思われたこと】 団体及び担当課は、事業進行中に適切な協議、意見交換等の機会を設けることが必要であると考えている。	

⑤情報の共有 （相手方と十分な情報の共有ができましたか。）

団体自己評価 【達成できた】	担当課自己評価 【充分達成できた】
【共有できたこと】 団体及び担当課は、概ね達成できたと考えているが、さらに情報交換の場を設定していれば、より十分な情報の共有が出来ると考えている。	

⑥役割分担と責任の明確化 （事業実施にあたって役割分担が明確に定められていましたか。）

団体自己評価 【充分達成できた】	担当課自己評価 【達成できた】
【共有できたこと】 提案通りに実行されている。	
【考え方に違いがあったこと】 団体は、役割分担について確認がとれていたが、担当課は企画段階からの役割が必要とも考えている。	
【改善が必要と思われたこと】 団体は、担当課も団体と一緒に実行委員会形式のように事業に係われば、更によかったのではないかと考えている。	

⑦協働事業の相乗効果 （市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができましたか。）

団体自己評価 【充分達成できた】	担当課自己評価 【充分達成できた】
【共有できたこと】 協働事業としたことで、市民からの信用が得られ事業の遂行が円滑に行われた。 また、担当課職員も講座に参加し、コミュニティビジネスの理解が深まったこと、講座終了後にメーリングリストを活用し、情報交換や交流を継続していること、調査報告書に担当課からのアドバイスでより良い内容になったことなど互いの専門性を補完しあうことでより良い成果があった。	

⑧目標の達成 （事業の目的が達成できましたか。）

団体自己評価 【達成できた】	担当課自己評価 【充分達成できた】
【共有できたこと】 入門講座、起業講座のアンケートから、参加した市民の心に火をつけ、地域とつながり課題解決をしたいという思いにさせたことがわかった。実態調査報告書についても、団体の持つネットワークを活かし、一般の調査委託業務で想定されるものより踏み込んだ内容となり、今後小平市のコミュニティビジネスの教科書として活用できるものとなった。	
【考え方に違いがあったこと】 団体は、講座の受講生が独立するまでは、結果はわからないが、事業の目標達成については将来調査する必要があるとの考えがある。（現在、受講生の何名かは、自分の考えたビジネスを市内で展開しようと、公民館を使った企画、映画会など積極的に地域活動に取り組んでいる。）	
【改善が必要と思われたこと】 団体は、これからコミュニティビジネスを目指す人は、まず同じ志を持った人とのつながり、ネットワークが必要で、定期的なたまり場が必要であるという考えがある。	

⑨地域の課題解決 （事業を通じて、地域の課題解決が進みましたか。）

団体自己評価 【達成できた】	担当課自己評価 【充分達成できた】
【共有できたこと】 講演会方式の入門講座は、50名の参加があった。起業養成講座の参加者は、実際の起業を意識している。実態調査で、あらたな地域の課題を発見し、これらからコミュニティビジネスを目指す人に役立つ報告書になった。	
【改善が必要と思われたこと】 団体は、起業養成講座の参加者は、1年間の事業では、独立出来るかわからない。参加者に対するフォローが大切だと考えている。	